

2025年3月1日

泌尿器・副腎・腎移植外科に、過去に通院・入院された患者さんへ (臨床研究に関する情報)

当施設では、下記の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られる検査結果などの診療情報を用いて行います。この研究は、厚生労働省・文部科学省・経済産業省の「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」(令和3年3月23日制定、令和5年3月27日一部改正)に従って実施しています。この研究に関するお問い合わせや、診療情報をこの研究に利用することにご了承いただけない場合は、下記の連絡先・相談窓口へご照会ください。診療情報の利用にご了承いただけなかった場合でも、それが理由で不利益を受けることはありません。

この研究は、香川大学医学部倫理委員会承認されています。また、香川大学医学部長より実施の許可を受けています。

[研究課題名] 腎腫瘍に対するロボット支援腹腔鏡下腎部分切除術の術中尿路解放の予測因子に関する後ろ向き研究

[研究の目的]

腎部分切除術は多くは腎動脈をクランプし阻血下に行います。しかし腫瘍の位置や大きさで術中に尿路開放を認めることがあります。尿路開放を認めた場合は開放部分の閉鎖縫合、腎質縫合や尿管ステント留置が必要になります。これらの手技は手術時間・阻血時間の延長の原因となります。そして術後の尿漏等の合併症の原因となる可能性もあります。この尿路開放の原因となる因子を検討します。

○対象となる患者さん

2001年1月1日から2025年2月28日の間に当院で治療を受けた腎癌の患者さん

○利用する検体・診療情報

CT所見から得られる腫瘍径・断面積・周囲長・表面積・体積・腫瘍と尿路の距離、その他のパラメーター(性別、年齢、PS(Performance Status)、体重、身長、BMI、体表面積、臨床病期(cTNM)、転移部位)、血液データ(CRP、白血球、白血球分類、血小板、Hb、LDH、中性脂肪、コレステロール値(HDL・LDL)、血糖値、HbA1c、Na、Ca、K、Cr、eGFR)、転移性腎細胞におけるリスク分類(International Metastatic Renal Cell Carcinoma Database Consortium (IMDC)リスク分類、Memorial Sloan-Kettering Cancer Center (MSKCC)リスク分類)、RENAL Nephrometry Score、病理組織学的情報(組織型、病理学的病期(pTNM)、悪性度等)、治療生存期間、無再発期間、手術時間、ロボット手術時間、術中阻血時間、尿管ステント留置有無・時間、尿管カテーテル留置有無・時間、尿路開放の有無、inner sutureの有無、尿路開放部縫合の有無、腎実質縫合の有無、術中・術後合併症の有無・程度を抽出します。

○利用または提供を開始する予定日

倫理委員会承認日

[研究組織] 香川大学医学部附属病院 泌尿器・副腎・腎移植外科 病院助教 内藤 宏仁

この研究について、研究計画や関係する資料、ご自身に関する情報をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。

研究に利用する患者さんの個人情報に関しては、お名前、住所など、患者さん個人を特定できる情報は削除して管理いたします。また、研究成果は学会や論文で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

[連絡先・相談窓口]

香川県木田郡三木町池戸 1750-1

香川大学医学部附属病院 泌尿器・副腎・腎移植外科 担当医師 内藤 宏仁

電話 087-891-2202 FAX 087-891-2203